

2014.11.18 NO.684

# 日本共产党

## 磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp  
 川西町結崎862-7 0745-43-2415  
 吉田 容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木113-5 090-5257-4446  
 森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵281-1 0744-33-8570  
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風440-5 0745-43-2661

「安倍政権の最大の目的は長期政権だ。勝てるときに選挙をやる。麻生政権で解散をできずに結局任期満了になつて惨敗したのがトラウマだ」。自民党のベテラン議員は安倍首相の思惑をこう解説します。安倍首相は、消費税の10%増税判断を12月上旬に行うとしていました。ところが、消費税8%増税で深刻な景気の落ち込みがあらわになり、どの世論調査でも7~8割が10%増税に反対しています。増税を強行すれば国民経済への破壊的影響と国民の憤激は必至です。そこで増税の延期と「引きかえ」に解散するシナリオが浮上しました。

回答したのは70人。安倍政権「不支持」が47人で、「支持する」が22人、「どちらともいえない」と、線上にシールを貼つた人が1人でした。

は「安倍政権には即刻、退陣してほしい。自分の意思を選挙で表せる良いチャンスだ」と日本共産躍進への期待を語りました。

# 安倍政権どこが許せない

赤旗シールアンケート 東京

「不支持」の理由として多かったのは消費税増税反対。再増税の先延ばしではなく中止を求める声が上がりました。「今まで通りの僕約だけでは支払額が高くなり、消費税増税の影響を感じます」。東京都練馬区の女性(49)は「安倍さんは、子育て中の世帯にお金がかかることを理解して。庶民感覚を持つ政党に伸びてほしい。がんばって」と話しました。

「不支持」を迷わず選んだ音楽家(56)は、「同豊島区は、理由を「とくに平和のことでは安倍首相はウソを言っているから」と語ります。「安倍首相が唱える『積極的平和主義』。言葉通りなら、憲法9条を前面に押し出した外交をするのが当然なのに、やつたのは集団的自衛権の行使容認だつた」。岩手県から上京してきたばかりの女性(20)は、「安倍政権が東日本大震災の被災地を放置して、復興が必要な支援をしていないと訴えます。『安倍さんは国民の意見を聞かないから、もう任せっきりにできません』。総選挙はよく考えて、必ず初めての投票権を使います」と話しました。

埼玉県川越市の男性(68)

日本共産党の井上哲士議員は13日、参院外交防衛委員会で江渡聰徳(あきのり)防衛相が代表を務める「自民党青森県第二選挙区支部」が、政治団体の届け出のない「政經福祉懇話会」から2002~12年の11年間で計3285万円の献金を受けている問題を取り上げ、同氏の政治姿勢をただしました。井上氏は、江渡氏の支援企業の会である同会が支部に毎年300万円の寄付をするながら、政治団体の届け出をしていないと指摘。「政治団体」にあたる団体の届け出なしに寄付を禁じた政治資金規正法に反すると迫りました。江渡氏は、同会が勉強や親睦が目的であり、「政治団体にはあたらず、問題ない」と居直りました。政黨支部へ5万円を超える献金をした企業・団体名は収支報告書に記載され、公開されますが、懇話会を通せば企業名は明らかにされません。

井上氏は「懇話会を隠れみにした企業献金ではないか」と繰り返し追及しましたが、江渡氏は、「そのようには考えていない」と答弁。井上氏は、12年に東北6県で政党支部に年間100万円以上の寄付をした128件のうち、政治団体が50、株式会社等が75で懇話会のような任意団体は3団体のみであり、毎年寄付しているのは同懇話会のみだと指摘。「政治活動の公明と公正を確保するという政治資金規正法の目的とかけはなれた不透明な献金だと厳しく批判しました。

2014年11月15日(土)

“解散政局”の背景は“世論と運動が追い詰める増税延期”のシナリオも

にわかに強まる“解散風”。その背景にあるのは、安倍晋三首相の党略的な思惑です。

2014年11月15日(土)

治を一。衆院解散・総選挙の可能性が高まる中、本紙は15日、東京・池袋駅前で、安倍政権の支持・不支持を問うシールアンケートを行い、「不支持」が「支持」の2倍以上にのぼりました。安倍「暴走政治」の転換を求める声が強まっています。

井上議員“団体で献金集め”違法の疑い”追及

安倍政権“亡国の政治”ストップ  
 第16回なら赤旗まつり  
 11月22日(土)  
 午前10時~  
 なら100年会館  
 大ホール・広場  
 講演市田忠義党副委員長  
 参議院議員  
 齋地方選挙  
 予定候補者がせいぞろい

## 田原本町長選挙結果 2014.11.16

当選	寺田 典弘	6,407
	豆田 至功	4,548

増税を求める財界、財務省、自民党内の強硬論に対しても、先送りはあくまで「延期」であり、「選挙で勝てばまたチャンスが来る」という「言い訳」も隠されています。

しかし、消費税増税は国民主が反対しており、もともと公約違反の自公民3党合意で強行したもの。増税先送りはあくまで「延期」であり、「選挙で勝てばまたチャンスが来る」という「言い訳」も隠されています。

増税先送りは、アベノミクスの失敗の証明でしかないのです。

2014年11月12日(水)

## 町民の声

田原の戸先日までの5日間、田原本町の町長選挙がありました。私は新人の豆田氏の応援にアナウンサーなどで奮闘しました。

この選挙で多くの方と対話が出来、いろんな事を学ばさせて貰いました。ご高齢の女性は自転車から降りて「年金がどんどん下がり、月に6万円しかない。これでは生活出来ないから息子に頼らざるを得ない。何とかして欲しいわ」と。又、ある女性は「ごみを全部、収集してくれるかが一番心配。町長はそろそろ替わつてもええんとちがう?」と。また寒い中、家の壆の外まで出て豆田氏の政策をじつと聴いていた女性は「朝ご飯を食べてない子も多いらしいし、母

親がいない子もいてるし、中学校給食は絶対してあげないとあかんわ！」ときつぱり言わされました。そして候補者の地元では「よしのりちゃんの背

「駅係員の無人化」などで近鉄側と懇談

日本共産党奈良県委員会、県議団、地方議員団（14名）は、10日、近鉄王寺駅舎で、夏に行つた「暮らしのアンケート」で住民から出された意見に基づいて要望書を提出し、近鉄側（猪狩一典近鉄事業本部大阪輸送統括部・運輸部運行課長ら8名）と懇談いたしました。

についてインターほんで連絡しなければ使えない状態に対し、「利用客の要望もたくさんあり、1月から使用可能に切り替えた」と報告がありま

親がいない子もいてるし、中学校給食は絶対してあげないとあかんわ！」ときつぱり言わされました。そして候補者の地元では「よしのりちゃんの背中にこれ貼つてやつて！」とカイロを2枚持つて玄関口に飛び出して来て下さった女性。足元を見ると御自身は靴下も履かず、ヘップを引っかけたまま。こんなにも慕われているのかと豆田氏の人間性を再認識させられました。

寒風の中、選挙活動は正直厳しかったけれど、あちこちで住民の生の声を聴かせて頂き、改めて議員としての責任の大きさと重さを感じた選挙でした。

## 解散総選挙

解散総選挙 時節がら神社の周辺を通りますと七五三の光景を目になりますよね。これ十一月十五日なんですが、十一月から今月いっぱいにかけての都合の良い日になさっているのがほとんど のようですね。神社の事情は存じませんが、少子化や低賃金の影響はここにも表れている事でしょう。

そんな中、突然、総選挙の話が吹き出しまして来月十四日投票説が色濃く報じられています。暴走する安倍政権打倒の絶好の機会ですから、国民にとつては血湧き肉躍るそんな鬪いになつて当たり前なんですが、問題は、争点がどれだけ明確になるかでしょうね。

先日、庭一面に広がっている落ち葉を掃除しました。四五(トル)袋二杯分もありました。

ほとんどがアメリカハナミズキの落ち葉です。

わずか一本の木でこれだけの葉っぱを茂らせている。すごい生命力と感心しました。

人の細胞も、歯や爪以外の細胞はすべて、三ヶ月で作り変えられているそうです。その時、少しでも再生を失敗すると異常のある細胞になる。それを防ぐのが、三度三度の食事をバランスよく食べることです。

本町の中学生の四人に一人が朝食をとつていま

消費税の引き上げ、集団的自衛権容認に見られる海外で戦争する国づくり、脱原発に真っ向から逆らう原発再稼働、知事選で沖縄県民によるノンの審判が下りましたが、沖縄辺野古への米軍基地づくり等々、こうした明々白々の争点がどれだけ有権者の前に明確になるかが一つのカギでしょう。我が党は、野党で唯一支持率を伸ばしているんです。それは、政権与党に対してもどの問題でも対案をきちんと示して対峙して来た証に他なりません。皆さんの中に立ちはだかる一連の諸問題の解決策を高く掲げて躍進目指して旺盛に頑張ります。

**落ち葉**

先日、庭一面に広がっている落ち葉を掃除しました。四五リッ袋二杯分もありました。

ほとんどがアメリカハナミズキの落ち葉です。わずか一本の木でこれだけの葉っぱを茂らせていました。

人の細胞も、歯や爪以外の細胞はすべて、三ヶ月で作り変えられているそうです。その時、少しでも再生を失敗すると異常のある細胞になる。それを防ぐのが、三度三度の食事をバランスよく食べることです。

本町の中学生の四人に一人が朝食をとつていま

田原本議会議員 吉田容工

は四割もの生徒が朝食を食べていないので、登校してから何か食べてから授業に臨むよう指導しているそうです。

給食の重要性がわかりますよね。町長選挙開票作業で「寺田のりひろ中学校給食をお願いします」という票が四票もあり無効と判断されています（多事記載）。寺田町長が「中学校給食など取り組んでいかねばならない課題が山積」と公約されたのですから、男に二言なし。実施していましたが、結果無効となってしまった（多事記載）。

そんな中、突然、総選挙の話が吹き出しまして来月十四日投票説が色濃く報じられています。暴走する安倍政権打倒の絶好の機会ですから、国民にとつては血湧き肉躍るそんな鬪いになつて当たり前なんですが、問題は、争点がどれだけ明確になるかでしょうね。

時節がら神社の周辺を通りますと七五三の光景を目に入れますよね。これ十一月十五日なんですが、月から今月いっぱいにかけての都合の良い日になさっているのがほとんどのようにですね。神社の事情は存じませんが、少子化や低賃金の影響はここにも表れている事でしょう。

消費税の引き上げ、集団的自衛権容認に見られる海外で戦争する国づくり、脱原発に真っ向から逆らう原発再稼働、知事選で沖縄県民によるノーリの審判が下りましたが、沖縄辺野古への米軍基地づくり等々、こうした明々白々の争点がどれだけ有権者の前に明確になるかが一つのカギでしょう。

我が党は、野党で唯一支持率を伸ばしているんです。それは、政権与党に対してもどの問題でも対案をきちんと示して対峙して来た証に他なりません。皆さんの中に立ちはだかる一連の諸問題の解決策を高く掲げて躍進目指して旺盛に頑張ります。

川西町議会議員 芝和也